

# 日本学習社会学会

## 第15回大会プログラム

2018年9月1日（土）・9月2日（日）

日本学習社会学会 第15回大会実行委員会

於 立命館大学衣笠キャンパス

# 日本学習社会学会第 15 回大会

## (1) 大会期間と会場

期間 2018 年 9 月 1 日 (土)、2 日 (日)

会場 立命館大学衣笠キャンパス (以学館)

〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1

連絡先 [k-tomoko@fc.ritsumeai.ac.jp](mailto:k-tomoko@fc.ritsumeai.ac.jp) (柏木智子)

[t-takei@fc.ritsumeai.ac.jp](mailto:t-takei@fc.ritsumeai.ac.jp) (武井哲郎)

## (2) 日程 (一部変更の可能性もあります)

各種委員会・理事会	
9 月 1 日 (土) 会場：立命館大学衣笠キャンパス (以学館)	
9:30~10:00	学会賞選考委員会【IG307 教室】
10:00~11:00	年報編集委員会【IG309 教室】
	研究推進委員会【IG310 教室】
	国際交流委員会【IG208 教室】
11:00~12:30	全国理事会【IG207 教室】
学会大会 1 日目	
9 月 1 日 (土) 会場：立命館大学衣笠キャンパス (以学館)	
12:30~	大会受付・学会受付【以学館 1 階】
13:00~14:30	自由研究発表 分科会 I【IG208 教室】 分科会 II【IG309 教室】 分科会 III【IG310 教室】 (休憩)
14:40~16:40	公開シンポジウム： 困難を抱える子どもへの包括的ケアの実現と課題 ～今、改めて学校の役割を問う～ 【以学館 1 号ホール (IG101)】 (休憩)
16:50~17:35	総会【以学館 1 号ホール】
17:35~17:50	学会賞受賞式【以学館 1 号ホール (IG101)】 (移動)
18:00~19:30	情報交換会【カルム】

学会大会 2 日目	
9 月 2 日 (日) 会場：立命館大学衣笠キャンパス (以学館)	
9:00～	大会受付・学会受付
9:30～12:00	課題研究Ⅰ：「学習都市の可能性」【IG207 教室】 課題研究Ⅱ：「高等教育における国際化の課題」【IG208 教室】
12:00～13:00	(昼食休憩)
13:00～15:30	自由研究発表 分科会Ⅳ【IG208 教室】 分科会Ⅴ【IG309 教室】 分科会Ⅵ【IG310 教室】

### (3) 参加費用

一般会員	2,000 円 (正会員・臨時会員)
院生・学生会員	1,000 円 (院生・学生)
情報交換会 (懇親会)	4,000 円 (正会員・学生会員)

\*公開シンポジウムのための参加は無料です。

### (4) 会場への交通機関

交 通	○JR・近鉄京都駅から	バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>市バス 50 にて 42 分、快速 205 にて 36 分、「立命館大学前 (終点)」下車</li> <li>市バス 205 にて 38 分、「衣笠校前」下車、大学まで徒歩 10 分</li> <li>JR バスにて 30 分、「立命館大学前」下車 (*本数が少ないのでご注意ください)</li> </ul>
	○JR 円町駅から	<ul style="list-style-type: none"> <li>バス</li> <li>タクシー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市バス快速 202/205、15、臨時便にて 9 分、「立命館大学前 (終点)」下車</li> <li>市バス 204/205 にて 5 分、「衣笠校前」下車、大学まで徒歩 10 分</li> <li>JR バス 高尾・京北線にて 8 分、「立命館大学前」下車</li> <li>タクシーで 10 分程度 (1000 円以内)</li> </ul>
	○阪急電車西院駅から	<ul style="list-style-type: none"> <li>バス</li> <li>タクシー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市バス快速 202/205、臨時便にて 17 分、「立命館大学前 (終点)」下車</li> <li>市バス 205 にて 13 分、「衣笠校前」下車、大学まで徒歩 10 分</li> <li>タクシーで 15～20 分程度 (2000 円以内)</li> </ul>



立命館大学衣笠キャンパスのホームページ「交通アクセス」をご覧ください。  
<http://www.ritsumeit.ac.jp/accessmap/kinugasa/>

### (5) ホテルのご案内

京都市内のホテルは混み合っており、値段設定も幅が広いので、ご自身でご予約いただければ幸いです。早めのご予約をおすすめいたします。

## 自由研究発表要領

- 1. 発表時間**

個人研究  
発表 20 分、質疑応答 5 分  
共同研究（口頭発表者が 2 名以上の場合）  
発表 40 分、質疑応答 10 分
- 2. 発表資料**

40 部  
※会場校での資料のお預かり及び印刷は、お引き受けできません。
- 3. 発表用機材**

発表に際しては、パソコン（パワーポイント内蔵）、プロジェクター、スクリーンが利用できます。発表申込みの際に機器使用を申し込まれた方は、データを USB メモリに入れてお持ち下さい。
- 4. 欠席の場合**

発表者がやむを得ず欠席する場合は、下記に必ず連絡してください。発表者が欠席の場合は、発表時間の繰り上げはせず、質疑・休憩の時間に割り当てます。  
[t-takei@fc.ritsumei.ac.jp](mailto:t-takei@fc.ritsumei.ac.jp)（武井哲郎）
- 5. その他**

発表者は、指定発表時間にかかわらず、各分科会の開始 10 分前までにご来場いただき、司会者に出席を通知してください。また、配布資料がある場合、各会場のスタッフに資料をお渡しいただき、USB データ確認などが必要な場合、その旨お伝えいただければと存じます。

## 連絡事項

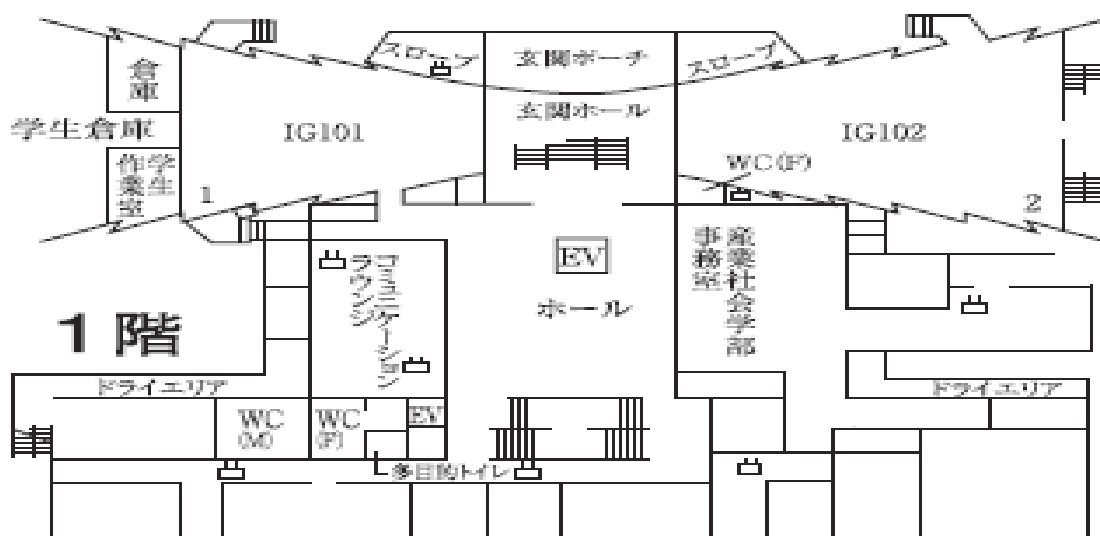
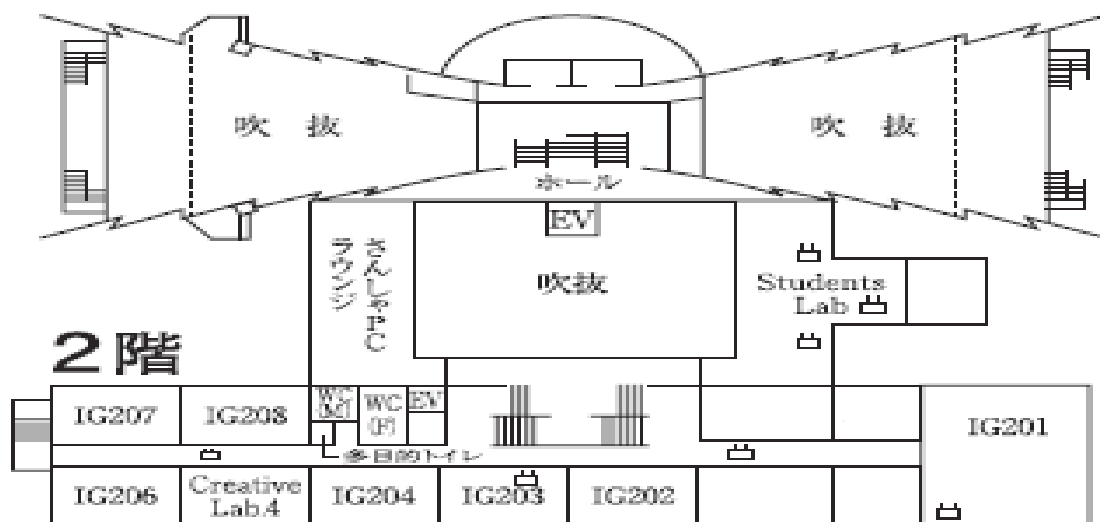
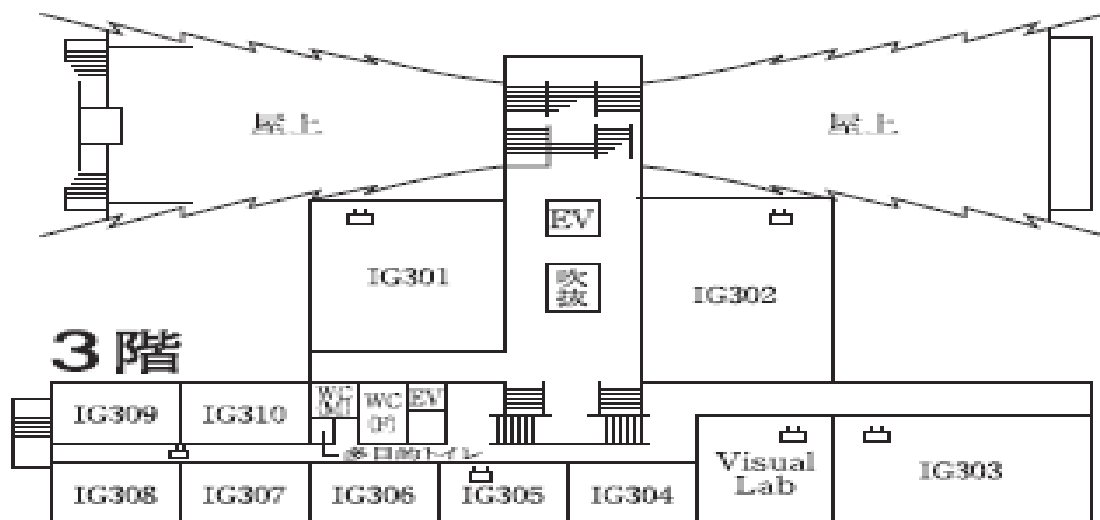
- 1. 学会費の納入**      学会員の方は、本年度会費（一般 8,000 円、学生 5,000 円）を受付横の学会事務局デスクにて納入ください。
- 2. 理事会**              9 月 1 日（土）11 時から全国理事会を行います。昼食は事務局で用意いたします。  
なお、会場は以学館 IG207 教室となっております。
- 3. 公開シンポジウム打ち合わせ**  
9 月 1 日（土）13：30 から、公開シンポジウム打ち合わせを行います。報告者・司会者の方はご出席をお願いいたします。昼食は大会実行委員会で用意いたします。  
なお、場所は以学館 IG203 教室となっております。
- 4. 会員控室**              控室として、以学館 IG307 教室を用意しておりますので、どうぞご利用ください。また、1 階コミュニケーションラウンジが開放されておりますので、併せてご利用ください。
- 5. 昼食**                      学内の売店・食堂は 1 日（土）のみ営業しています。会場周辺にはコンビニや飲食店が多くありません。2 日（日）の昼食については事前にご準備いただくことをお勧めいたします。

## 衣笠キャンパスマップ

<受付> 正門から入り、直進して突き当りの建物1階までお越しください。  
東門から入り、すぐ左手の建物1階までお越しください。



# 以学館 会場マップ





# 自由研究発表 I

IG208 番教室

9月1日(土) 13:00～14:30

司会 佐々木 保孝 (天理大学)

【1】 13:00～13:25

『社会に開かれた教育課程』の基盤となる教育環境とカリキュラム・マネジメント  
—高等学校の事例に基づいて—

山崎 保寿 (松本大学)

【2】 13:25～13:50

昼夜間定時制高等学校における授業実践 (1)  
—多様化する生徒に着目しての公民科—

竹熊 孝博 (東京都立一橋高等学校)

【3】 13:50～14:15

昼夜間定時制高等学校における授業実践 (2)  
—多様化する生徒に着目しての地理歴史—

窪 和広 (法政大学・非常勤/  
日本大学人文科学研究所研究員)

14:15～ 全体討議

## 自由研究発表Ⅱ

IG309 番教室

9月1日（土）13:00～14:30

司会 志々田 まなみ（国立教育政策研究所）

【1】13:00～13:25

「ふるさと学習」におけるアイヌ民族の両価性について

上野 昌之（首都大学東京・非常勤）

【2】13:25～13:50

観光教育は何をもたらすか  
— 沖縄における事例を中心に —

大庭 由子（安田女子大学）

【3】13:50～14:15

学童疎開  
— 70年後の児童と受入村落 —

長谷川 晴通（常葉大学・科目等履修生）

14:15～ 全体討議

## 自由研究発表Ⅲ

IG310 番教室

9月1日（土）13:00～14:30

司会 岩崎 正吾（早稲田大学）

【1】13:00～13:25

留学生教育と地域社会

大谷 崇（東京福祉大学）

【2】13:25～13:50

外国につながるのある子どもたちのキャリア形成の実態と課題  
—公立小中学校に在籍する日系の児童生徒に着目して—

星野 洋美（常葉大学）

【3】13:50～14:15

サンフランシスコ公立小学校の  
日英バイリンガルプログラム（JBBP）の45年の歩みと課題

田中 真奈美（東京未来大学）

14:15～ 全体討議

## 公開シンポジウム

困難を抱える子どもへの包括的ケアの実現と課題  
～今、改めて学校の役割を問う～

9月1日（土）14:40～16:40（以学館1号ホール：IG101）

近年、子どもの貧困がクローズアップされ、それに関連する問題の深さと広がりに対して多角的な教育的支援が求められている。また、障がいや有していたり、外国にルーツをもっていたりすることによって、不利を被りやすい子どもに対する支援も同様に課題となっている。

学校には、こうしたさまざまな困難を抱える子ども支援のプラットフォームとしての役割が求められている。一方で、教師の過剰な業務負担が問題視され、「教師が子どもと向き合う時間の確保」や「教育活動に専念できるようにする」負担軽減のあり方が議論されている。そのために、部活指導や事務処理の見直しがなされつつあるほか、チーム学校導入や地域連携による負担軽減も期待されつつあるといえる。これらからは、教師の業務を減らしつつ、子どもへの支援を充実させようとする政策の意図がうかがわれる。

しかしながら、さまざまな困難を抱える子どもへの支援の現実には、それほどたやすいものではない。困難を抱える子どもにとって、教師とのどういった時間や活動が必要なのかをまず踏まえる必要があるだろう。そうしなければ、教師の業務負担軽減を推進するなかで、多様な生きづらさを抱える子どもへの支援に温度差が生じ、支援から抜け落ちる子どもが出てくるであろう。また、多様な専門職によるチームが、教師の専門性とその他の専門スタッフの専門性の違いをどう乗り越え、協働を確立するのかを問わなければ、子どもに最善の利益を提供できるチームになるのは難しい。さらに、地域連携が地域間格差の助長や住民のボランティアへの動員を惹起するといった問題にも留意しなければならない。

そのため、本シンポジウムでは、「学校の役割」を改めて問うことにより、困難を抱える子どもへの包括的ケアを可能とする地域づくりとその課題について考える。その際、支援やケアを個別対応としての対処的、医療的なものとして捉えるのではなく、インクルーシブな視点から共生社会の実現を試みるものとして位置づける。学校が全てを担えるわけではない中で、教師はどういった教育活動を模索すべきなのか、支援しえない部分をどう放出するのか、地域社会は子どもたちの困難をどう受け止め、取り組むのか。そして、子どもたちへの包括的ケアを可能とする共生社会づくりのマネジメントを誰がどうすればいいのか。これらの問いに実践者・研究者としての立場から各氏に報告していただきたいと考えている。

報告者：新海 理丘（茨木市立郡山小学校校長）

報告者：上村 文子（滋賀県スクールソーシャルワーカー）

報告者：盛満 弥生（宮崎大学教育学部准教授）

司会：堀井 啓幸（常葉大学教育学部教授）

【後援】京都市教育委員会／【助成】立命館大学産業社会学会

## 総会・学会賞授賞式

以学館1号ホール (IG101)  
9月1日(土) 16:50~17:50

総会をご欠席の場合は、委任状の提出をお願い申し上げます。

## 情報交換会

レストラン カルム  
9月1日(土) 18:00~19:30

奮ってご参加くださいますよう、お願い申し上げます。

# 課題研究 I

## 学習都市の可能性

IG207 番教室

9月2日（日）9:30～12:00

「学習都市」(learning city)は、近年ユネスコが推進している概念である。世界の経済や社会に都市が大きな影響力を持っていることを受け、都市が抱える様々な課題の解決には、全ての市民が生涯を通じて積極的に学び、その能力や知識を社会に活かしていく生涯学習の重要性が指摘され、その結果として、世界中の都市が「持続的な学習都市」へ戦略的に変革していく重要性が提唱されている。我が国においても岡山市などが学習都市構築に向けた取り組みを始めている。

本課題研究では、学習都市が持つ可能性を理論的、実践的に検討する。報告1では、学習都市の概念が現代の学習社会にとって持つ意味を示し、報告2では自治体の取り組み、報告3では学校現場の取り組みを報告する。人々の学習を保障する都市の条件、都市の持続可能性を探究する学習のあり方を探りたい。

### 報告1：学習都市の展開と課題

赤尾 勝己（関西大学）

### 報告2：自治体の取り組みー岡山市のユネスコ学習都市グローバル・ネットワーク

内田 光俊（岡山市教育委員会事務局生涯学習課公民館振興室）

内藤 元久（岡山市市民協働局市民協働部ESD推進課主幹）

### 報告3：学校現場におけるESD(持続可能な開発のための教育)の実践

竹島 潤（岡山大学教育学部附属中学校 教諭）

司会：若槻 健（関西大学）

## 課題研究Ⅱ

高等教育における国際化の課題

IG208 番教室

9月2日（日）9:30～12:00

国際化が叫ばれるようになってから久しい。世界の多くの国々が国策として大学の国際化を進めており、日本においても文部科学省主導で推進されてきた。質的に大学そのものを改革する手段として取り組まれているか、学生主体のものになっているか、厳しく問われるところである。

本課題研究では、高等教育の役割を捉え直し、変革に向けた過程や手段について次の点から探る。報告1は欧州の高等教育研究、報告2は医学教育、報告3は大学図書館からの報告である。高等教育は、独自性と質を兼ね備えたものになり得るか、その可能性を展望したい。

報告1：欧州高等教育研究における国際化 田中 達也（釧路公立大学）

報告2：医学教育の国際化と課題 前田 崇（北里大学）

報告3：大学図書館における国際化の検討 坂内 夏子（早稲田大学）

司会：金山 光一（都留文科大学）

## 自由研究発表Ⅳ

IG208 番教室

9月2日（日）13:00～15:30

司会 若槻 健（関西大学）

【1】13:00～13:25

日本の食文化を学ぶ社会教育の一考察

手塚 貴子（日本大学大学院・院生／函館短期大学）

【2】13:25～13:50

超スマート社会(Society5.0)論の教育・学習活動への波及

桜庭 望（国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構）

【3】13:50～14:15

実践的指導力の概念に関する研究

中島 正明（安田女子大学）

【4】14:15～15:05

社会教育専門職員の新たな専門性の探究

—地域に広げたい意味ある対話—

○藤岡恭子（岐阜経済大学）

○筒井昭仁（三重県教育委員会）

○江藤明美（鈴鹿大学短期大学部）

15:05～

全体討議



# 自由研究発表Ⅴ

IG309 番教室

9月2日（日）13:00～15:30

司会 丹間 康仁（帝京大学）

## 【1】13:00～13:50

学校運営協議会と地域学校協働本部の連携・協働に関する調査研究

- 佐々木 保孝（天理大学）
- 志々田 まなみ（国立教育政策研究所）
- 天野 かおり（下関市立大学）
- 熊谷 慎之輔（岡山大学）

## 【2】13:50～14:15

韓国の併設幼稚園教育における現状と課題  
—地域社会との関わり—

呉 世蓮（早稲田大学・非常勤）

## 【3】14:15～14:40

事業評価が支援活動に与える影響の検討  
—地域若者サポートステーションの「事業実績」データに着目して—  
小山田 建太（筑波大学大学院・院生）

14:40～ 全体討議

# 自由研究発表Ⅵ

IG310 番教室

9月2日（日）13:00～15:30

司会 入澤 充（国土館大学）

【1】13:00～13:25

体罰による求償権行使の動向

横山 幸祐（国土館大学大学院・院生）

【2】13:25～13:50

言語障害児支援の歴史における北海道言語障害研究会の役割と機能

田中 謙（山梨県立大学）

【3】13:50～14:15

保育士・幼稚園教諭養成課程における

—主体的共感に基づく学生の障がい者理解の過程—

山下 真由美（函館短期大学）

【4】14:15～14:40

「地域知」と「資質・能力」

—教員養成教育における「節合」モデルの検討—

井手 弘人（長崎大学）

【5】14:40～15:05

イベントの講義化における課題に関する一考察

—稚内北星学園大学「地域学特講」を事例として—

石橋 豊之（稚内北星学園大学）

15:05～

全体討議

日本学習社会学会第 15 回大会プログラム

〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1

立命館大学産業社会学部 柏木智子研究室

日本学習社会学会第 15 回大会実行委員会

柏木智子、武井哲郎、古田雄一